

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

特集

音楽とメディア芸術で世界をつなごう ひろふエス、動き出す!!



今年2022年8月に始まる新しいフェスティバル「ひろしま国際平和文化祭(ひろふエス)」! コンセプト“平和の種をまき、次世代を育てる”のもとに、2年に一度開催されます。第1回のテーマは“いのち輝く平和芸術、みんな主役。”日常生活の中で平和への思いを共有する「平和文化」の醸成を目指し、本格的に動き出しました。当たり前の日常を過ごし、その中で芸術文化を楽しめるのは平和だからこそ。その気持ちを改めて胸に刻み、メディア芸術分野「ひろしまアニメーションシーズン」の最新情報をお届けします!

コンペティション審査始まる! プレイメントも開催間近。 作りたくなる、考えたくなる、今 広島だからできるフェスティバルへ!

1月に受付を開始した、メディア芸術部門のコンペティションと、ひろしまアーティスト・イン・レジデンス(H-AIR)の応募が2月で締め切られました。「環太平洋・アジア」「ワールド」の両コンペティションには合わせて2000を超える作品が寄せられ、選考委員による一次審査が始まっています。ここで入選した作品は本審査に進むとともに、8月の映画祭期間中に上映されます。観客賞のほか、特別審査員による賞も設けられる予定。音楽部門の次世代指揮者アカデミー&コンクール、中高生対象のジュニアウインドオーケストラ広島の応募もまもなく締切です。育成と学び合いのアカデミー、競い合いのコンペティション、そして顕彰と評価のワードへと繋がっていく新しいフェスティバルが本格的に動き出します。

4月16日には、音楽とメディア芸術の両方を楽しめる開催記念プレイメント「作りたくなる、考えたくなる日」が行われます。ワクワクする企画が盛りだくさんです。H-AIRに招かれる作家も既に決定し、5月からの来広が予定されています。作家のみなさんと市民と一緒にアニメーション

を創る「街かどアニメーション教室」、公民館や図書館で、幼稚園から高校まで、アニメーションを学び楽しむ機会も増えていきます。

8月のフェスティバル期間中には、テーマを設けて作品をセレクトした特集上映(ファミリー向けも予定)、平和文化の構築に貢献したアニメーション関係者を讃える「アワード」受賞者の関連作品も上映されます。

今年、広島は、平和を希求するとともに、多彩なアニメーションを体験するシーズンです!

【メインビジュアル】(絵・山村浩二さん)

金箔(広島では歴清社が有名ですね)を背景に鯉がいますよ♪
他には何がいるかな?

☆プレイメント内容とH-AIR作家紹介を2~3ページに掲載しています。
イベント事前申込受付も始まります。是非ともご参加を。
作家紹介は本誌が初! 心からの歓迎の気持ちを込めて。

<開催概要> 2022年8月開催! 第1回ひろしま国際平和文化祭(ひろふエス)



U3し国際平和文化祭
HIROSHIMA FESTIVAL 2022

公式サイト

【コンセプト】 “平和の種をまき、次世代を育てる” 【第1回テーマ】 “いのち輝く平和芸術、みんな主役。”

【開催期間】 2022年8月1日(月)~8月28日(日)

8月5日(金)~17日(水)「ひろしまミュージックセッション」

8月17日(水)~21日(日)「ひろしまアニメーションシーズン」をメイン事業に、広島市内を中心に様々な文化イベントが溢れる一ヶ月です。地域の文化団体が主催する連携・応援イベントも開催!

【会場】 JMSアステールプラザほか

- ①ひろしま国際平和文化祭 <https://hiroshimafest.org/>
②アニメーションシーズン <https://animation.hiroshimafest.org/>
③ミュージックセッション <https://music.hiroshimafest.org/>

①



②



③



開催記念 イベント

ひろしまアニメーションシーズン2022プレゼンツ 「作りたくなる、考えたくなる日」 ～音楽とメディア芸術の特別なイベント～



絵、声、音楽、朗読、アニメーションに彩られた
あなたもきっと作りたくなる一日

2022年4月16日(土) 受付・開場13:00
JMSアステールプラザ中ホール

●第一部 作りたくなるお話 13:30～15:15
出演：山村浩二、宮崎しずか、新谷真弓、信濃宙花&川又優菜(STU48)

●第二部 考えたくなるお話 15:30～17:00
出演：小林良子、羽賀美歩、新谷真弓、アーサー・ピナード、山村浩二

入場無料・要事前申込

<https://hiroshimafest.org/pre100.html>

3月22日(火)10:00より受付開始!



ひろしま国際平和文化祭(ひろフェス)開催記念イベントは、音楽とメディア芸術の両方が楽しめる、特別なイベントです。第一部では、著名なアニメーション作家・山村浩二さんの「絵を描いてみたくなるお話」、人気声優・新谷真弓さん(映画『この世界の片隅に』声の出演/方言指導)の「声を出してみたくなるお話」レクチャー、アニメーションの起源ともいわれる幻燈機の映像制作実演や「ひろフェスPR映像」アフレコ体験。第二部では、幻想的な名作アニメーション『霧のなかのハリネズミ』上映、「星めぐりの歌」など宮沢賢治に捧ぐ演奏、アーサー・ピナードさん翻訳、山村さんがイラストを手がけた『やまなし』日英朗読ショー、『やまなし』に出てくる謎の言葉“クラムボン”の新解釈対談。頭と感性を総動員してワクワクできそう！心の中に何か作りたい♪が生まれ、夏のフェスティバルが楽しみになること間違いなしです。



関連展示

ひろしまアニメーションシーズン2022開催記念

『やまなし Mountain Stream』山村浩二原画展「クラムボンってなんじゃろ?」

2022年4月12日(火)～17日(日)11:00～19:00(最終日は16:00まで) *入場無料・予約不要
会場：gallery G(広島市中区上八丁堀4-1 公開空地内) <https://gallery-g.jp/>



宮崎しずかディレクターに聞く ～期待ふくらむ! ひろしまアニメーションシーズン～

比治山大学講師でもある宮崎さんは、広島市民としてこの街をアニメーションで盛り上げたい、広島に居る人間が加わって良い映画祭にしたいとの想いでディレクターを引き受けられたとのこと。お話を伺いました。

(聞き手・文：松浦妙子)

——コンペティションには2000を超える応募があったと聞きました。一次選考も担当されますが、感触をお聞かせください。

宮崎しずかさん(以下、宮崎)：新しい映画祭のため、どの程度応募があるか未知数でしたが、大変嬉しいです。

環太平洋・アジアを対象にしたコンペティションを設けているということもあって、アジアや北米・南米からの積極的な応募も目立ちました。これまでにない多彩なアニメーションを上映することで、“広島だからこそ”という新しい価値を見いだせる映画祭にしていきたいと考えています。

——アカデミー事業では、広島の子どもたち、若い世代への学びの場も作られるそうですね?

宮崎：高校生向けには、メディア芸術の祭典「アルス・エレクトロニカ」と組んで、広島とオーストリアの高校生同士が交流する場を作ります。世界の高校生の考え方に触れる機会は、とても刺激になると思います。

——「アルス・エレクトロニカ」はPerfumeのライブ演出を手がける真鍋大度さんも受賞されましたね。世界最高峰のメディア芸術の一端に広島で出逢えるとはワクワクします。他にはどのような取り組みがありますか?

宮崎：中学生向けには、短編アニメーションを教材とした国語の授業を計画しています。言葉(文字)・映像・音など様々な視点で考え、批



評して、新しい観点を見つけてもらえることを期待しています。新しい観点は今後、これまで気づけなかったことに気づく力になります。もちろんアニメーション創作にも生きてくる学びです。

幼稚園などのお子さん向けには、「ぴかぴかランタン」という幻燈機を使ったワークショップを用意します。

——アーティスト・イン・レジデンスの作家さんもアカデミー事業に参加されるそうですが?

宮崎：広島市の不登校児童生徒適応指導教室「ふれあい教室」でのワークショップのほか、「街かどアニメーション教室」では市民とグループを作って映画祭冒頭で流れるショートクリップを制作する企画があります。是非参加してください。4月16日頃にサイトなどで発表されると思います。

——イベントも楽しみですが、その頃には色々な新しい情報が発表されるそうですね。今後、またイベントは実施されるでしょうか?

宮崎：開催1ヶ月前にもう1回検討しています。そちらは「描きたくなる」イベントになるはず。詳しくはもうしばらくお待ちください。

——最後に、広島で映画祭を支える宮崎さんから何でも一言!

宮崎：このフェスティバルが育っていくには、地元・広島で文化を支える草の根団体、グループ、個人のサポーターが必要で、もっと増えてほしいです。これまでにないことに接する機会がたくさんあります。それをインプットして新しい視点での発信(アウトプット)を欠かさない人が増えて、応援団になってもらえると嬉しいです。

HACも応援団の一端を担って発信します。ひろフェス、アニメーションシーズン、ミュージックセッション各サイトのURL・二次元バーコードを1ページに掲載しています。是非チェックを!

発表!!

H-AIR ひろしまアーティスト・イン・レジデンス 作家決定! ～才能あふれる3人のアーティストが広島にやってくる～

H-AIRは、世界中のアニメーション関係者の応募より選出されたアーティストが、広島市に長期間滞在し構想するプロジェクトの取材や制作活動等を行う事業です。広島に住んで感じたこと見つけたことから、どんな作品が生まれるのか興味津々。その表現には地元に住ながら気づかなかった新しい広島を発見できるかも。作家のみなさんとは、市民参加のアニメーション制作企画「街かどアニメーション教室」などで交流できます。素敵なアーティストと触れ合っってアニメーションの楽しみを感じる機会が生まれます。

■ マフブーフ・カライ (Mahboobeh Kalae)

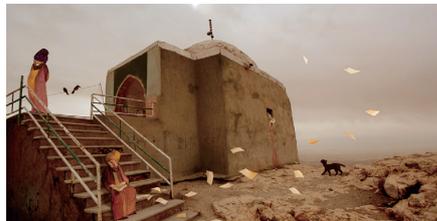


1992年、イラン生まれ。2015年テヘラン美術大学工業デザイン科卒業。2020年、テヘラン芸術大学(映画・演劇学部)アニメーション監督学修士課程修了。2Dアニメーター、作家、イラストレーター、グラフィックデザイナー、実験アニメ・短編アニメのディレクター。

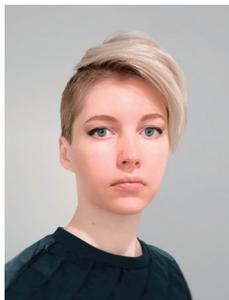
<プロジェクト“Ship for Our Relation”>

イランの細密画のキャラクターたちが、カリグラフィーの新境地を求めて

日本を旅します。キャラクターたちは数百年前の様々な絵から集まり、現代を旅していきます。本作は、イランの細密画のキャラクターたちがミクストメディアの手法を通じて現実と関わっていくアニメーション・ドキュメンタリーです。



■ ナタ・メトルーク (Nata Metlukh)



1982年、ウクライナ生まれ。バンクーバー・フィルム・スクールでクラシック・アニメーションを学び、エストニア芸術アカデミーで芸術修士号を取得、Priit Parn監督のもと映像演出を学ぶ。現在はサンフランシスコを拠点に、GIFや短編アニメーションの制作を中心に、コマーシャルや個人的なプロジェクトに取り組んでいる。

<プロジェクト“Off-Time”>

"Off-Time"は、時間というテーマを様々な側面から取り上げる短編アニメーション。大都市でのラッシュ、常に生産的であるという衝動、異なる時間認識、年を取るにつれ時間が速くなる……といったような時間に関連したテーマを探ることが目標です。



■ 是恒 さくら (Sakura Koretsune)



1986年、広島県呉市(旧・安芸郡)音戸町生まれ。2010年、アラスカ大学フェアバンクス校リベラル・アーツ・カレッジ美術学科卒業 学士(美術)。2017年、東北芸術工科大学大学院修士課程修了。国内外各地の捕鯨、漁労、海の民俗文化を尋ね、リトルプレスや刺繍、造形作品として発表する。リトルプレス『ありふれたくら』主宰。

<プロジェクト“海馬の目(うみうまのめ)”>

瀬戸内海で生まれ育った私の原風景である「水によって動かされる風景」に着想を得て、アニメーションと現実の風景が混在するようなアニメーション/映像作品を制作します。



メディア芸術の街 探訪 横川 ～文化を見守る水辺のたたずまい～

広島市西区の横川は、交通の便もよく、様々なお店が集まる横川商店街でも知られます。横川商店街では、これまでレトロバス(かよこバス)の展示や女子サッカー「アンジュヴィオレ広島」の運営、「横川ふしぎ市」や「横川ゾンビナイト」などの多彩なイベントを活発に行ってきました。横川を拠点に活動するクリエイターも多く、広島メディア芸術文化にも深いつながりをもった街です。昔ながらの飲食店が並びJR横川駅の南東部には横川シネマやクリエイターがアトリエを置く横川創荘があり、「レトロでアートな空間」が広がります。さらに横川の北西部には緑に囲まれた三滝寺や三篠神社で歴史散策も楽しめるなど、多彩な魅力にあふれた街です。

今回、ご紹介するのは横川の南側を流れる旧太田川～天満川にかけての川岸です。江戸時代から昭和初期まで盛んだった水上輸送で利用された荷揚げ場(大雁木:おおがんぎ)が一部残っています。近年、川岸では季節ごとに様々なイベントが行われ、地域のクリエイターたちと市民が音楽や映像などを楽しんでいます。

今年の夏、ひろフェスで広島に来られた際は、ぜひ横川の様々な魅力をお楽しみ下さい。

横川商店街サイト <http://e-yokogawa.net>



昔の水運の荷揚げ場「楠木の大雁木」

◆Event Information

●仮面ライダーストア in 広島バルト11

会期:2022年3月16日(水)~4月10日(日)
会場:広島バルト11(安芸郡府中町大須2丁目1-1 イオンモール広島府中4F)
時間:平日10:00~20:00、土日祝8:00~20:00(最終日は17:00まで)
問合せ:082-561-0600
https://tjoy.jp/hiroshima_wald11/kamen-riderstore/

●こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界

会期:2022年3月19日(土)~5月15日(日)
会場:ひろしま美術館(広島市中区基町3-2)
料金:一般1,300円、高・大学生1,000円、小・中学生500円
時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)
問合せ:082-223-2530
https://www.hiroshima-museum.jp/special/detail/202203_WakayamaKen.html

●TVアニメ「オリエント」×「広島城」 スペシャル企画展

会期:2022年4月2日(土)~5月8日(日)
会場:広島城天守閣 第四層企画展示室(広島市中区基町21-1)
料金:大人 370円、高校生・シニア(65歳以上) 180円、中学生以下無料
※シニアの方は年齢確認できる証明書を
ご提示ください。
時間:9:00~18:00(入館は閉館の30分前まで)
問合せ:082-221-7512
<https://orient-anime.jp/news/detail?id=1098321>



●コスカレードin広島市森林公園10

日程:2022年4月3日(日)
会場:広島市森林公園(広島市東区福田町字藤ヶ丸10173)
料金:コスプレ参加費1,000円(小学生以下無料)、撮影者は無料
時間:9:00~16:30(入園は16:00まで)
問合せ:info@cosquerade.jp
<https://cosquerade.jp/event-info/forest10/>

●コスカレードin神楽門前湯治村2

日程:2022年4月24日(日)
会場:神楽門前湯治村(安芸高田市美土里町本郷4627)
料金:日帰り参加1,000円、前泊参加 9,000円(1泊2食付き・温泉代含む)
コスプレイヤーと撮影者は同一料金
時間:10:00~16:00 問合せ:info@cosquerade.jp
<https://cosquerade.jp/event-info/kagura2/>

●いつアニ(五日市アニコミ&アニソフエス)

日程:2022年5月22日(日)
会場:五日市中央公園(広島市佐伯区五日市中央6-1-79)他
料金:入場無料、コスプレ更衣室利用料別途
時間:11:00~16:00 問合せ:info@5ani.jp
<https://twitter.com/comike8itukaihi>

※新型コロナウイルス感染症対策のため、事前の整理券入手、入場時に検温などの体調確認・マスク着用・アルコール消毒等を要請される場合があります。各施設の規定に従って、展示を楽しみましょう。臨時休館や会期変更の可能性もあります。詳しくは各施設のサイトをご覧ください。

サニクリーン×比治山大学「ぴかぴかアート教室」

サニクリーンアカデミーと比治山大学短期大学部美術科・幼児教育科が連携し、「ぴかぴか教室」を実施して、幼児に気持ちのよいくらしを送るためのワークショップを行っています。
2022年春からは「ぴかぴかアート教室」が新たにスタートします!
アニメーションの起源ともいわれる幻燈機をモチーフにした「ぴかぴかランタン」を開発し、幼児にアニメーションを動かす楽しさを体験してもらうワークショップを開催します。
実施をご希望の保育園・幼稚園・こども園などは以下からお気軽にお問合せください。

株式会社サニクリーン中国 お問い合わせ フリーダイヤル 0120-86-3290



サニクリーン

フリーダイヤル
0120-86-3290

お取り扱いサービス:ダストコントロール商品、環境衛生商品のレンタル及び販売、ユニフォームのレンタル及び販売、クリーンサービス事業(清掃)、カーリース、アクアサービス

きれいにしたい。あしたのために。

サニクリーンは「レンタル」「リサイクル」などのシステムをとおして、資源の有効活用を目指し、人としぜんにやさしいサービスと商品をお届けしています。

広島新銘菓

生もみじ



にしき堂

発行日:2022年3月18日 発行部数:5000部/発行:広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
編集:NPO法人広島アニメーションシティ(HAC)・松浦妙子・谷口重徳・カワサキマミ/レイアウトデザイン:カワサキマミ/題字デザイン:岡川卓詩(名古屋芸術大学)
【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局 〒730-0011広島市中区基町21-3 中国放送会館内
<http://hac.or.jp/> Email:hac-jimu@hac.or.jp

メディア芸術に関する情報やご意見を募集しています